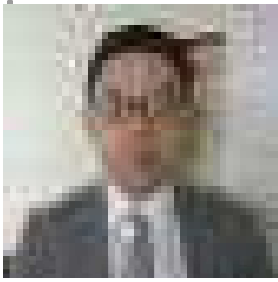


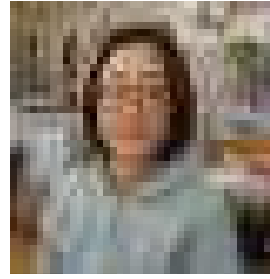
着任のご挨拶

お世話になります。よろしくお願いいたします。



【北尾 稔】

登別市立青葉小学校から校長として赴任しました北尾稔（きたおみのる）と申します。中学校での勤務は8年ぶりとなりますが、気持ちを新たに、子どもたちや教職員、保護者・地域の皆様、関係機関の皆様と協力して、厚真中学校のさらなる発展のために尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。4月7日に初めて生徒の皆さんにお会いしましたが、一人一人のしっかりとした姿（中学生らしさ）に感動していました。多くの感動を今後も期待しております。



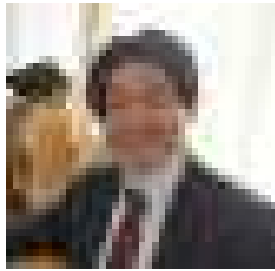
【紺屋 雅子】

苫小牧市立啓北中学校山なみ分校から参りました紺屋雅子です。生徒の皆さんの話を聞く姿勢や、行事での挨拶の言葉などが大変立派で、初日から感激させられました。音楽科としては、コロナ禍で活動が制限されているため、早く一緒に合唱をしたり、吹奏楽の合奏をしたりして、喜びや感動を分かち合いたいと願っています。今できることに精一杯取り組み、厚真町の一員として頑張りたいと思いますので、保護者の皆様、地域の皆様どうぞよろしくお願いいたします。

【真下 裕之】

苫小牧市立啓明中学校から参りました真下裕之（ましもひろゆき）と申します。

今年度は、1学年の主任と担任、教科は全学年の社会科、部活動は吹奏楽部の副顧問を担当することになりました。まずは厚真中学校の文化に早く慣れ、生徒の皆さんや地域の皆様とともに、充実した毎日を過ごして参りたいと思います。新たな出会いに感謝して、尽力して参ります。よろしくお願いいたします。



【大村 悠斗】

この度、福島町立福島中学校から参りました大村悠斗です。これまで比較的小規模な学校を経験してきました。そのような学校は、保護者、地域の方々との連携が行いやすく、関わりも密でありました。この厚真でも同じように教育に携わることができるのではと、期待に胸を膨らませていたところです。厚真の子どもたちの成長に最大限の力を尽くしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



〈厚真中学校校長先生に聞きました〉

— 厚真町にいらっしゃって、まずどんな印象ですか？

○生徒は素直な子が多く、土地の雰囲気もあって落ち着いたいるなあという第一印象です。私が来た時も気持ちのいい挨拶をしてくれる生徒たちがいて、温かい校風を感じました。子供たちがやりたいことや良いところを伸ばしていけるような、チャレンジできる場が厚真町は多いと思うので、町にあった教育の形を地域の方と一緒に考えていきたいと思っています。

— これまでどんな仕事をされてきましたか？

○11年間、教頭として小中学校に赴任していましたが、その前は一度教員をやめて教育委員会で働いていました。当時は学校のネットワーク環境の整備をしていました。まだ情報も少なかった時代で誰に聞いてもわからなかったので、必要な知識や技術を独学で勉強しました。当時の経験から、コロナ禍に自宅で過ごす時間においても自分でPCを組み立てたりしていました。

— なかなか一人で勉強されるのは難しい分野だと思いますが…

○自分のペースでコツコツと勉強するのは好きですね。高校までどちらかというと文系でしたが、受験の時に数学の面白さに気づきました。数学にはいろいろな国の文字が出てくるので、文字のひとつひとつの意味を知る度に新しい発見があってワクワクしていました。

— 何事も楽しめるところが素敵ですね。

○これまでも行く先々で助けや支えになる方たちとの出会いがあったことで、何事も楽しみながら乗り越えてこれたように思います。何か悩んだ時も、友人たちとご飯を食べたり気軽に話したりするなかで、自分自身の発見や成長に繋がっていったと思います。中学生たちも、まずは自分たちでやってみるということを意識して色んなことに自由に挑戦して行ってほしいと思います。

北尾稔(きたおみのる)校長

函館市出身。

大学時代まで函館で過ごした後、主に胆振管内の中学校や小学校で教員として勤務。担当教科は数学。

今年度厚真中学校の校長に着任。